



▲甲佐未来塾で熱心に授業を受ける甲佐中の生徒たち

甲佐中生徒に学びの機会を 甲佐未来塾が7月21日（金）開塾

7月21日（金）甲佐中学校で「甲佐未来塾」が開塾されました。同塾は、町教育委員会が同中（西本仁史校長）の生徒の学力および地域の教育力の向上を図ることを目的に開催。受講を希望した1～3年生の約70人が参加しました。講師として卒業生や元教員などが夏休み期間を利用し、全14回の日程で英語と数学の授業を実施しました。



▲緑川改修期成会を代表して、廣瀬局長に要望書を手渡す奥名町長

水害から地域を守るために 緑川の河川整備の促進を国交省に要望

7月20日（木）緑川水系の治水対策などの事業や管理を行う国土交通省に対して、緑川改修期成会（奥名克美副会長）が堤防の整備など河川整備促進について要望活動を行いました。奥名町長は「安全・安心な地域づくりのために、緑川の早期整備の促進をお願いいたします」と述べ、国交省水管理・国土保全局の廣瀬昌由局長に要望書を手渡しました。



▲全国大会に出場した馬場美蘭選手

馬場美蘭選手が全国大会で躍動 第8回プレミアムリーグU-11チャンピオンシップ2023

7月25日（火）～27日（木）宮城県で第8回プレミアムリーグU-11チャンピオンシップに少年サッカーチーム「エスペランサ熊本」のメンバーとして馬場美蘭選手（甲佐小6年・有安区）が出場し、得点ランキング8位に輝きました。馬場選手は「今大会で感じた自身の課題である体幹や走力をはじめ、自信のある技術をさらに磨いていきたいです」と話しました。



▲九州大会に出場した濱結菜選手

濱結菜選手が九州大会に出場 第41回九州少年柔道大会

7月1日（土）・2日（日）長崎で開催された第41回九州柔道大会に甲佐町総合型地域スポーツクラブの甲心館に所属する濱結菜選手（甲佐小5年・横田区）が出場しました。濱選手は「九州大会に出場し、強い対戦相手と試合ができて、良い経験になりました。2回戦敗退で悔しいですが、次の大会では上位に入れるように練習に励みます」と話しました。



▲故山崎警部補慰霊祭に参列する参加者たち

地域の安心を守る誓いの日 故山崎警部補慰霊祭

7月31日（月）仁田子の緑川河川敷に鎮座する故山崎貴仁警部補の遺徳をしのび、慰霊祭が開催されました。慰霊祭は昭和46年7月31日に大雨で増水した緑川の中州で助けを求める中学生の救助活動中に殉職した山崎警部補の意思を受け継ぐために、御船警察署が毎年、同人の命日に実施。同署の堀田博士署長や署員などが参列し、冥福を祈りました。

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

7月26日（水）町本庁舎で本町へ寄附いただいた株式会社三浜測量設計社（熊本市・志水共一代表取締役）と山王株式会社（熊本市・深水弘一代表取締役）に感謝状が贈られました。

株式会社三浜測量設計社は、九州内で測量業・設計業・補償コンサルタント業を主に行う企業で、例年あゆまつりの花火に協賛いただいています。

山王株式会社は橋梁補修工事、土木工事、建築工事などを行う企業で、本町の熊本地震からの復旧・復興として町が計画した「住まい復興拠点施設」の災害公営住宅などの建設にも携わりました。

今回、2社からいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや新しい「ひと」の流れによる交流人口の拡大、関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする、本町の地方創生の方向性などをまとめた「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲北早川公民館で大正琴を演奏する「大正琴」教室の皆さん

大正琴の音色に魅了 町公民館出前講座

7月26日（水）北早川公民館で町公民館出前講座「大正琴演奏会」が開催され、地域住民ら13人が琴の音色を楽しみました。大正琴は、鍵盤を左手で押さえて右手のピックで弾きながら演奏する琴の一種。町公民館自主講座の「大正琴」教室に参加する7人が、「荒城の月」や「ふるさと」などを披露しました。参加者からは琴の音色と一緒に口ずさむ姿が見られました。



▲企業版ふるさと納税感謝状贈呈式に参加した株式会社三浜測量設計社の志水なるみ副社長（上）と山王株式会社の深水啓太副社長（下）